

# いろいろな品詞

注目  
5

バランスよく4技能を充実させられるよう、Skillの内容と配置を見直しました。

品詞は、英文の基本的な要素の1つです。単語にはいろいろな品詞があります。英文中の位置によっても品詞の種類が異なります。どのような品詞があるか見てみましょう。

First, we will learn about some rules of English together in class.

副詞 代名詞 助動詞 動詞 前置詞 形容詞 名詞 前置詞 名詞 副詞 前置詞 名詞

品 詞	単 語	役 割
名 詞	Mary, cat, apple など	人・もの・ことの名前を表す。
動 詞	know, make, eat, live など	人やものの動作や状態を表す。
形容詞	big, happy, easy など	人やものの形や様子を表す。
副 詞	here, now, usually など	名詞、動詞、形容詞に情報を加える。
冠 詞	a, an, the	名詞の前に置き、特定のもののか、もしくは不特定のものを表す。
前置詞	on, of, in, at, from など	名詞や代名詞の前に置き、場所や時などを示すときに使う。
代名詞	I, your, this, it など	人やものを表す名詞を代用する。
助動詞	will, must, may, should など	動詞に話し手の意思や意味を加える。
接続詞	and, but, because など	語と語や文と文などをつなぐ。
間投詞	oh, wow, whoa など	驚きや喜び、悲しみなどの話し手の感情を表す。

## Let's do it !

以下の例を参考に、さまざまな品詞の単語を用いて、高校生活でしたいこと、チャレンジしてみたいことをペアで伝え合いましょう。

ex. I want to play tennis. I played tennis when I was in junior high school.  
I want to practice a lot and win tennis matches.

## Memo

### Skill 1 いろいろな品詞

英語の基本的な要素の一つでもある品詞について学習します。冒頭の Skill ページでは、中学からの復習を兼ねた内容を紹介しています。

# 動詞の種類

動詞には、後ろに目的語をとらない「自動詞」と、後ろに目的語をとる「他動詞」があります。例えば、“start” という動詞は、次の例文で示すように自動詞としても他動詞としても使われます。

The engine started. 「エンジンがかかった」 自動詞

He started the engine. 「彼はエンジンをかけた」 他動詞

目的語

## 自動詞と他動詞

**自動詞** 自分だけで成り立つ動詞(目的語を必要としない)

live「住む」 go「行く」 sit「座る」 walk「歩く」など

I live in Kyoto. They sat on the floor.

(in Kyoto や on the floor のように前置詞を伴う語句は動詞の目的語ではない)

**他動詞** 他の人・ものに働きかける動詞(目的語を必要とする)

have「～を持つ」 like「～を好む」 eat「～を食べる」 know「～を知っている」  
find「～を見つける」など

I like fruit. I often eat bananas. (fruit や bananas は動詞の目的語である)

多くの動詞は上の start と同じように、自動詞、他動詞の両方で使います。

The gates open at 8 a.m. (自動詞)

They open the gates at 8 a.m. (他動詞)

## Let's do it !

以下の例を参考に、自動詞、他動詞の使い分けに注意して、一日の生活の流れについてペアで話し合ってみましょう。

ex. I get up at seven o'clock. After I eat breakfast, I leave home at 7:50 and walk to school. The first class begins at 8:40. We have four classes in the morning and three in the afternoon. My favorite subjects are math and PE.

## Memo

### Skill 2 動詞の種類

Skill 1 に続いて、基礎的な要素である動詞の種類について学びます。自動詞と他動詞の違いを説明しています。